

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	只見町立朝日小学校
授業者	本名 亜沙美

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

レッツ・トライin黒谷川

#### 1-2. 学年

第4学年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

#### 1-4. 単元の概要

第4学年の総合的な学習の時間のテーマは、「ユネスコパーク、水を探れ、守れ！」であり、「水」という観点から只見の自然を見つめなおし、只見町と他地域の関わりや、只見町の課題について考えていく。

前単元では、自然豊富な只見町の動植物の中で特に水辺にすむ生き物について学習し、生き物にとって森などの陸上の自然も、水辺の環境もどちらも必要不可欠であるということを再確認した。

本単元では、これまでの自分たちの水の捉えを見つめなおし、「只見の水は本当にきれいなのか？」という批判的な視点で学習を進めていく。そこから、只見の自然の良さや他地域との関わりについて気付くことができるよう以下のような流れで単元を構成した。

- 1 湧水を見学し、川の始まりを知る。
- 2 只見の水について考え、問いをもつ。
- 3 水質検査をして、只見の水の特徴をつかむ。
- 4 下流地域にあたる影響を考える。
- 5 調べたことをまとめる。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

##### 単元のねらい

只見の山から湧き出る栄養豊富な水が、川や海にすむ生き物に良い影響をあたえていることが分かり、只見の自然を守ることは海を守ることにもつながっているということに気づき、自分でできることについて考えをもつことができる。

##### 単元設定の理由

###### （1）児童の実態

総合的な学習の時間は、男子3名、女子2名、特別支援学級の男子1名の計6名で学習を行っている。昨年度の総合的な学習の時間では、只見の自然について広く学習してきた。今年度の総合的な学習の時間は、「ユネスコエコパーク、水を探れ、守れ！」をテーマに、水辺にすむ生き物や水を利用

した昔の人々の暮らし、只見に豊富にあるわき水、只見を流れる川の名称など、様々な視点で只見の水について探ってきた。水に関して、それぞれが興味を持ったことについて調べ共有することで、只見の水について広く知識を得ることができ、水はとても身近なもので自分たちの生活に深く関わっていることを実感することができた。

子どもたちは、只見の自然に対して「好き」「素晴らしいもの」「ずっと残していきたいもの」といったプラスのイメージをもっている。調べたり、調べたことをまとめたりする活動が好きで、意欲的に学習に取り組んでいる。しかし、少人数学級で固定的な人間関係の中にいるため、友達のことを気にして違う意見を出すことを避けたり、はじめに出た意見に安易に同調したりする姿が見られる。また、与えられたものや当たり前にあるものに疑問を持つことなく受け入れてしまう傾向がある。そのため、物事を批判的に見る力や、**多面的・総合的に考える力**、課題を見つけ自ら問題解決に取り組もうとする態度を養っていく必要がある。

## (2) 単元観

4学年の総合的な学習の時間のテーマは「ユネスコエコパーク、水を探れ、守れ！」である。前単元の「只見の水のひみつをさがろう」では、様々な視点で只見の水について探ってきた。

本単元は、前単元の学習から発展し、「守る」ことについて考えていく単元である。水質という視点で只見の水を見つめなおすことで、只見の自然の素晴らしさに改めて気付くことができる。只見の山から湧き出る栄養豊富な水が、川や海にすむ生き物に良い影響をあたえていること、只見の自然を守ることは海を守ることにもつながっているということに気付き、只見の自然を守っていかうとする意識を高めることができる単元である。また、児童は「只見の水」＝「きれい」という捉えしかもっていないため、川の水質を調べ、人にとっての水と生き物にとっての水という捉えの違いや、目に見えない違いに着目させることで、批判的に考えたり、**多面的・総合的に考え**を広げたりすることができる単元である。さらに、そこから生まれた問いを自分たちで解決していく調べ学習を設定することで、進んで課題解決に取り組もうとする態度を養うことができる。

## (3) 指導観

本単元では、只見の山から湧き出る栄養豊富な水が、川や海にすむ生き物に良い影響をあたえていること、只見の自然を守ることは海を守ることにもつながっているということに気付き、自分にできることについて考えをもつことが大きな目標である。海が只見の山、そして自分の生活ともつながっていることに気付き、自分でできることをしていこうという気持ちをもてるようにしたい。

また、話し合いから問いをもつことで、課題を自分のこととして捉え、友だちと協力しながら進んで課題解決に取り組もうとする態度を養っていききたい。

本時では、前時の湧き水の見学やこれまでの生活の中で聞きしたことから、感覚的に「きれい」だと思っている只見の水について、「本当にそうなのか?」「きれいとはどういうことか?」という視点を与えることで、只見の水について今までとは違う角度から考えさせ、批判的に考える力や**多面的・総合的に考える力**を高め、「きれい」か「汚い」かだけではない、目に見えないちがいに気付かせたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

**批判的に考える力**

ア 只見の水に対するこれまでの自分や友だちのとらえを見つめなおすことができる。

**未来像を予測して計画を立てる力**

イ 問いを解決できるように、調べ学習の計画を立てることができる。

**多面的・総合的に考える力**

ウ 只見の水を様々な観点から考えることができる。

エ 調べた結果から、自分の考えをもつことができる。

**コミュニケーションを行う力**

オ 学んだことを自分の言葉でまとめることができる。

カ 自分と友だちの考えを比較しながら話し合うことができる。

キ 調べたことや考えたことを、自分の言葉で表現できる。

**他者と協力する態度**

ク 友だちと協力して水質検査を行うことができる。

**つながりを尊重する態度**

ケ 海と自分とのつながりに関心を持ち、環境を守るために自分にできることを考えることができる。

**進んで参加する態度**

コ 学習内容に興味を持ち、主体的に活動に取り組むことができる。

1-7. 単元の展開（全15時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 2 3 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 湧き水を見に行こう。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山から湧き出る水の様子について知る。 (2)</li> </ul> </li> <li>○ 学習の計画を立てよう。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 只見の水について考える。(本時)</li> <li>・ 水質検査の計画を立てる。 (1)</li> </ul> </li> </ul> 	<p>オ 学んだことを自分の言葉でまとめることができる。</p> <p>ア 只見の水に対するこれまでの自分や友だちのとらえを見つめなおすことができる。                      &lt;批判的に考える力&gt;</p> <p>ウ 只見の水を様々な観点から考えることができる。                      &lt;多面的・総合的に考える力&gt;</p> <p>イ 問いを解決できるように、調べ学習の計画を立てることができる。</p> <p>カ 自分と友だちの考えを比較しながら話し合うことができる。</p>
5 12	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 只見の水を調べよう。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な地点で水質検査（パックテスト）を行う。(必要に応じて、他地域の水質検査の結果を分析する。) (4)</li> <li>・ 只見の水が下流地域に与える影響について調べる。 (4)</li> </ul> </li> </ul>	<p>コ 学習内容に興味を持ち、主体的に活動に取り組むことができる。</p> <p>ク 友だちと協力して水質検査を行うことができる。</p> <p>ケ 海と自分とのつながりに関心を持ち、環境を守るために自分にできることを考えることができる。</p>



13  
14  
15

- 学習したことをまとめよう。
- ・ 学習したことを，新聞やレポートにまとめる。
- (3)

- エ 調べた結果から，自分の考えをもつことができる。
- カ 自分と友だちの考えを比較しながら話し合うことができる。
- キ 只見の水について調べたことや考えたことを，自分の言葉で表現できる。

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元10時間中の2時間目 / 単元15時間中の4,5時間目

### 2-2. 本時の目標

只見の水を様々な観点から考える活動を通して、水には違いがあることに気付くことができる。

＜多面的・総合的に考える力＞

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 前時の活動を振り返り、本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>水によってどんなちがいがあがあるのかな？</p> </div>  <p>2 只見の水を様々な観点から考える。</p> <p>(1) 水がある場所と、観点を出し合う。</p> <p>場所・ 川                      ・ 湧き水           ・ 用水路                ・ 水道水           ・ 堀                        ・ 池</p> <p>観点・ 人が飲める           ・ 生き物がたくさんいる           ・ 植物がよく育つ           ・ 見た目           ・ 入っているもの</p> <p>(2) 只見の水について、様々な観点から話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 川の水は飲めない。</li> <li>・ 水道水で生き物は生きられないね。</li> </ul> 	<p>○ 前時の振り返りでは、前時の見学の記録を手元にもたせ、見学時の写真を提示することで、想起しやすくする。</p> <p>○ 水道水・湧き水を実際に提示し、水の違いに着目できるようにする。</p> <p>※ 見た目に違いのない水道水と湧き水を提示することで、見た目以外の観点到目を向けさせ、多面的・総合的に考えられるようにする。</p> <p>○ 様々な場所や観点から考えることができるように、前時の見学の様子や、普段の生活を思い起こさせるような発問し、いくつか場所と観点をだせるようにする。</p> <p>○ 模造紙に二次元表を作り、全員で話し合いながらチェックできるようにする。</p> <p>※ 友だちの意見に安易に同調せず、お互いの考えのずれに注目して話し合いができるように、教師がコーディネートする。</p> <p>◇ 只見の水に対するこれまでの自分や友だちのとなえを見つめなおすことができる。（発言）</p> <p>＜批判的に考える力＞</p>

<p>(3) 出来た二次元表をもとに、水を比較して気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ にごった水にも生き物はいる。</li> <li>・ 水道水と湧き水は、見た目以外にもちがいがありそう。</li> <li>・ 地域の人が、湧き水は甘いつって言っていたから何か入っているのかもしれない。</li> </ul> <p>3 次時の活動の見直しをもつ。</p>	<p>※ 二次元表にして結果を一覧できるようにすることで、水同士を比較し多面的・総合的に考えられるようにする。</p> <p>◇ 只見の水について様々な観点から考えることができる。(発言) &lt;多面的・総合的に考える力&gt;</p> <p>※ 再度、水道水と湧き水のちがいに着目させ、目に見えないものを調べていこうとする意欲をもたせる。</p> <p>○ 水質検査キットを見せ調べ学習への意欲を持たせる。</p>
---	---

### 3. 今回の活動の自己評価

<p>○ 導入で、見た目が同じ水を二つ提示したことで、見た目以外の違いに目を向けることができた。これまで子どもたちは、水についてきれいか汚いかで判断していたが、それ以外の観点があることに気付いたことで、様々な観点から水を見つめなおすことができ、「多面的・総合的に考える力」を高めることにつながった。</p> <p>○ 子どもたち自ら問いをもつことで、調べたいという意欲を引き出し、主体的に活動に取り組む態度を育むことができた。また、課題追究の水質検査で使用したパックテストは、中学年の子どもたちでも安全に扱うことができ、色の変化で数値を判定するという分かりやすいものであったため、子どもたちが主体となって学習する姿が見られた。</p> <p>○ 水質検査をグループで行わせたことで、一つ一つの結果について感じたことをグループ間で伝え合いながら進めることができ、自然と話し合う場面が生まれた。それによって、全体での話し合いの場面でも自分の思いや考えを伝えたり、友達の考えを自分の考えと比較しながら話し合ったりすることができるようになり、単元全体として「コミュニケーションを行う力」を育むことができた。</p>
---

### 4. 今後の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本時では、前半に時間をかけすぎてしまい、後半の話し合いの時間を十分にとることができなかった。また、二次元表をもとに気づいたことをワークシートに書く活動では、「水道水は、生き物はすみにくいが、植物はよく育つ。」と、一つの水についてのまとめになってしまっている児童が多かった。多面的・総合的に考えることができるようにするため、表を縦に見て、観点で比較する見方を示す必要があった。</li> <li>● 水質検査を始めたのが11月からだったので、十分にデータを集めることができなかった。調べていく中で、雨の日と晴れの日の数値の違いに着目した児童がいたため、天候の違いによる水質の違いは調べることができたが、水質は季節や曜日、時間帯によっても変わってくる。年度当初から計画を立てて水質検査をしていれば、様々な条件下でのデータを集めることができ、より総合的に水について考えることができたのではないと思われる。</li> </ul>
---

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 海のない山間部の実践であること</li> <li>○ 海での活動や調査を行うことを前提としていること</li> </ul>
--